

**[成果情報名]** 採花本数が多く浅橙黄の花色のカーネーション新品種候補系統「長崎1606」

**[要約]** カーネーションの新品種候補系統「長崎1606」は、スプレータイプで花は浅橙黄色でボリュームがある。切り花長が長く、茎が硬く、採花本数も多い。

**[キーワード]** カーネーション、スプレータイプ、浅橙黄

**[担当]** 農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

**[連絡先]** (代表) 0957-26-3330 (直通) 0957-26-4319

**[区分]** 花き

**[分類]** 普及

---

#### **[背景・ねらい]**

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。近年、中国からの輸入増加に伴って国際競争が激化し、日本の栽培農家は経営の危機に瀕している。

そこで、「長崎カーネーション」のブランド化を推進するため、花色・花型・草姿がすぐれ、豊産性で茎が硬く、花にボリュームのある長崎オリジナル品種の開発に向け、当センターで交配した新品種候補系統「長崎1606」を、主要品種「オレンジレンジ」と比較し特性を明らかにする。

#### **[成果の内容・特徴]**

1. 「長崎1606」はスプレータイプで、浅橙黄の花色である(写真1)。
2. 11月から切り花長が長く、茎も硬く、採花本数も多い(表1)。
3. 一次摘心後の萌芽数が多い生育旺盛な系統である(表2)。
4. 輪数は4輪以上で、花持ち日数も前処理剤(クリザールK-20c)使用で13.5日となる(表1、表2)。
5. 対照品種の「オレンジレンジ」に比べて花径が大きく、花弁数も多く花にボリュームがあり、花梗も長い(表2、写真1)。

#### **[成果の活用面・留意点]**

1. 秋に花梗が柔らかくなる傾向にあるので、パイプハウス栽培が適する。
2. 花持ち性を向上させるため、採花後前処理を実施する。

[具体的データ]

表 1. 育成系統・品種の切り花品質の特性

系統名	採花開始日		切り花長 (cm)	切り花重 (g)	輪数 (輪)	下垂度*	採花本数	
							月別 (本)	1株当りの採花本数 累積 (本)
長崎1606	10/31	11月	72.8	27.2	4.2	1.2	0.5	0.5
		12月	81.2	33.1	4.3	1.0	0.7	1.2
		1月	89.2	38.6	4.3	1.0	1.2	2.4
		2月	80.9	40.3	5.1	1.0	1.2	3.6
		3月	81.5	48.4	5.8	1.0	1.3	4.8
		4月	73.6	44.3	4.9	1.0	3.1	7.9
		5月	75.4	40.4	4.8	1.0	1.3	<b>9.2</b>
オレンジレンジ	10/15	11月	52.4	21.4	5.5	2.6	1.6	1.6
		12月	63.5	30.0	6.0	1.5	0.4	2.0
		1月	74.7	30.3	6.0	1.0	0.3	2.3
		2月	73.7	34.7	5.4	1.0	1.0	3.3
		3月	78.0	39.9	5.5	1.0	2.1	5.4
		4月	72.0	35.7	4.5	1.0	2.6	8.0
		5月	72.3	34.5	4.3	1.0	0.4	<b>8.4</b>

下垂度：先端から50cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。0°～10°=1とし、90°までを9段階に分類した数値  
 耕種概要：硬質フィルムハウス 隔離ベンチ栽培で、2007年6月24日に定植。栽植様式は70cmベンチ株間10cm2条植え14000本/10a、一回目の摘心7月20日、2回目の摘心9月25日、3回目の摘心10月18日。切り花品質調査は2007年11月1日～2008年5月9日まで行った。点滴灌水装置で常時施肥を行い、冬季は最低夜温12℃で管理した。

表 2. 育成系統・品種の花持ち日数と花の形質

系統名	一次摘心後 萌芽数	花持ち日数(日)		花径 (cm)	花梗 (cm)	花弁数 (枚)	二次花柄数
		無処理	前処理				
長崎1606	7.0	9.3	13.5	5.3	16.6	39.6	3.6
オレンジレンジ	5.6	8.5	19.0	3.9	12.4	31.3	3.5

花持ち調査は2008年2月21日採花分から開始した。無処理区は水道水で、前処理区はクリザールK-20c1000倍液で、4℃の冷蔵庫で10時間水揚げ後、外花弁が水平状態の開花ステージで採花した花を用い12時間電照1000lux 平均湿度63% 平均温度19.4℃の条件下で調査した。花持ちは下表評点3以上の日数の平均値を花持ち日数とした。花の形質調査は、2008年1月17日に行った。

鮮度の評点

評点 鮮度評価

- 5 正常な花
- 4 花弁先端部にわずかに変色・インローリング（花弁の内側への巻き込み）の見られる花
- 3 インローリングが始まっているが、観賞に耐える花
- 2 萎ちょう・インローリングの明らかな花
- 1 萎ちょうの進んだ花
- 0 枯死



写真1. 「長崎1606」の花形・花色

[その他]

研究課題名：カーネーションの新品種育成

予算区分：県単

研究期間：2004年～2008年

研究担当者：樫山妙子、諸岡淳司